

せ ん

ぼ

通信

No.85

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「ウイルス」

緊急事態宣言が解除され、少しずつ飲食…旅行と動きはじめたようです。

歌人で生物学者の永田和宏さんのお話～

「100年前のスペイン風邪に、斎藤茂吉もかかり、大変だった事を歌にしている。

与謝野晶子も、子供たちが次々かかり、学校や集会など、多くの人が集まる事を禁止しない国を批判していて、今と同じようだった。

生物は、ウイルスと共存しながら進化してきた…『ウイルスに打ち勝つ』は、少し違う。これから温暖化が進み、北極の氷が解けたしたら…そこから、未知のウイルスが、飛び出してくるかもしれない…」と。

何だかこわいような…でも…そんなにこわがらなくてもいいような…。いろいろ取り込みながら、生きてきた生物ですから…人も。冬になったら、また、感染拡大の予想ですが、その前に、短い秋の日差しをうけながら、心と体に、エネルギーをためておきましょう。

運動会…文化祭…芋煮会…温泉…楽しいことが少しずつできるようです。

マスク…手洗い…距離…気をつけながら。

宅配便を出しに来たお母さん、届け先は、春から一人暮らしを始めた長男さんへ。配達予定日が三日後だったので、確認したら

「息子が、その日がいいって言うから…」。うちで留めておく？「いいえ…今日は大安だから、今日送りたいんです…」。

聞いた瞬間…そのお母さんの気持ち、丸々胸の中に入ってきて、そっか…そっか…と。そして、野口英世さんの母・シカさんが、英世さんに書いた、有名な手紙を思い出しました。

今は、スマホでいつでもつながっていて、声を聞いたりできるけど、遠くはなれた子供を思う親心は、いつの時代も変わらないですね。

お七夜の萩と三日月ふんわりと

西郷村の甲子道路で追突事故に…前の車が急停車したので、私も急ブレーキを。なんでこんな所で止まるの？…と思った直後、後ろから、ガチャーンと。なんで？…どうして？？？おばあちゃんが2人道路わきを歩いていて、それをよけようとしたトラックが徐行…次々と急停車…、後の車もブレーキを踏んだけど、間に合わなかった。2週間前に、高齢者講習を受けたばかりだったので、急ブレーキを踏めて良かったです…と言ったら、警察官は、ニコニコしながら…うんうん…と。ケガもなく、車も修理でき、本当に神様に感謝！そして、運転中のラジオはやめました。

講習のときの先生の言葉を忘れず、運転に集中するために…。



インコのレモンちゃん…頭が大好き